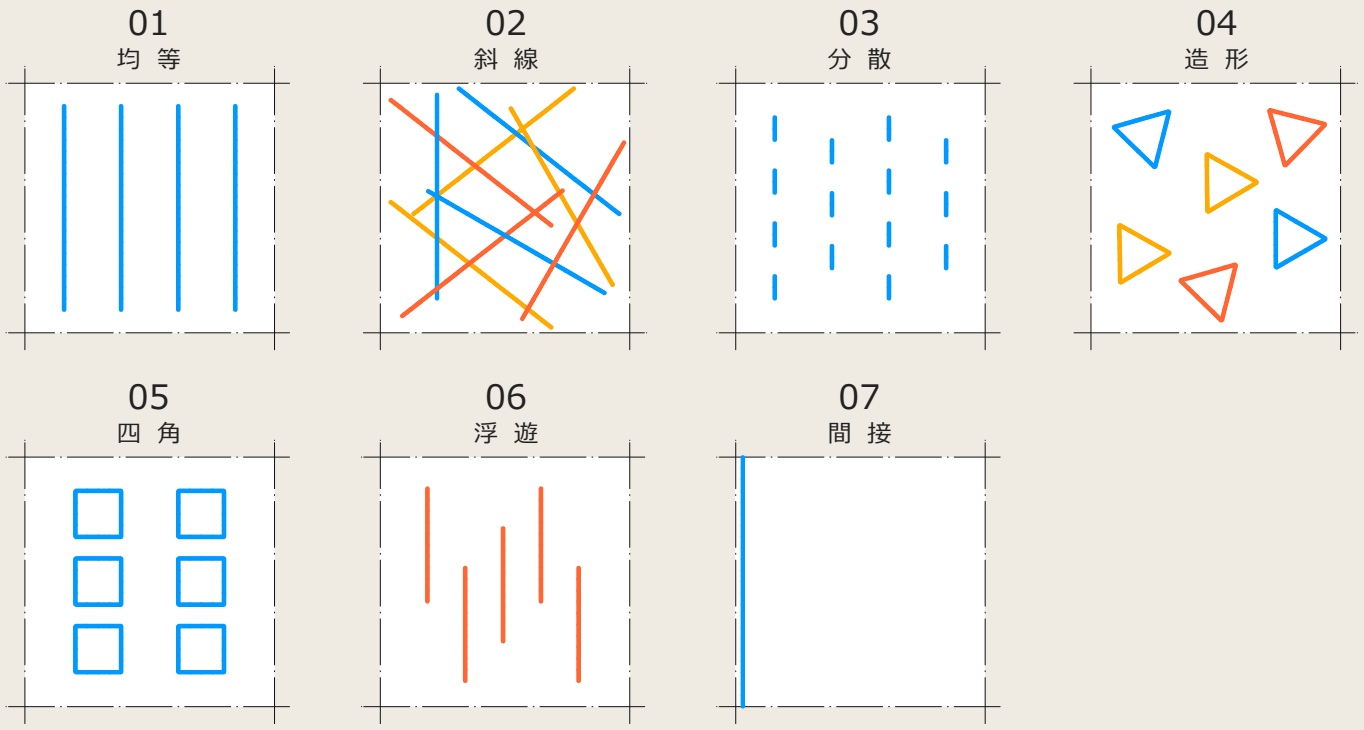
lighting
creative
room

ラインの光を使ったデザイン

照明器具は、空間の明るさを確保する機能的な目的、シャンデリアのようにそのものの形を楽しむインテリアとしての目的や間接照明のように光源を天井や壁などに組み込み、器具を見せずに建築構造と一体化させることで建築を美しくみせる目的などがあります。
今回は、照明器具の目的を全て兼ね備えた、ライン照明のデザインパターンをご紹介いたします。

DIAGRAM

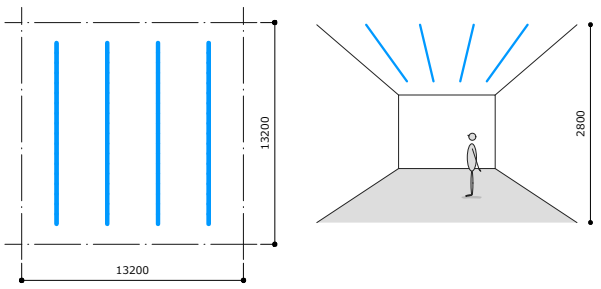


・8つのダイアグラムを自由に組み合わせることで、多様な空間アレンジが可能となります。



01
均 等

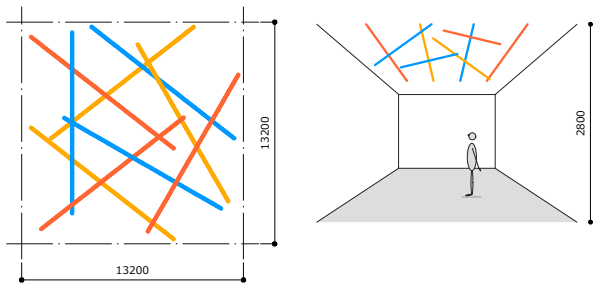
シームレスな直線を同じピッチで均等に構成している空間。
スッキリとした印象で、建築部材の一部として同化するため空間を選ばすフラットな明るさを効率的にとることができる。
均質な明るさが求められたり、家具レイアウトの変更などが頻繁に行われる空間などに適している。





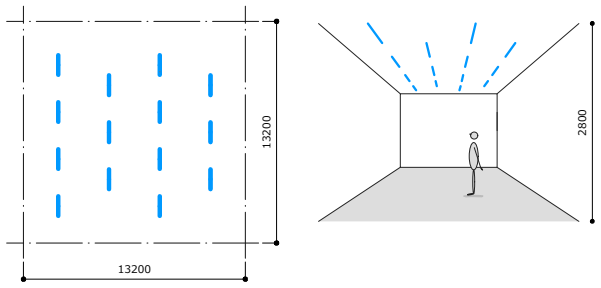
02
斜　線

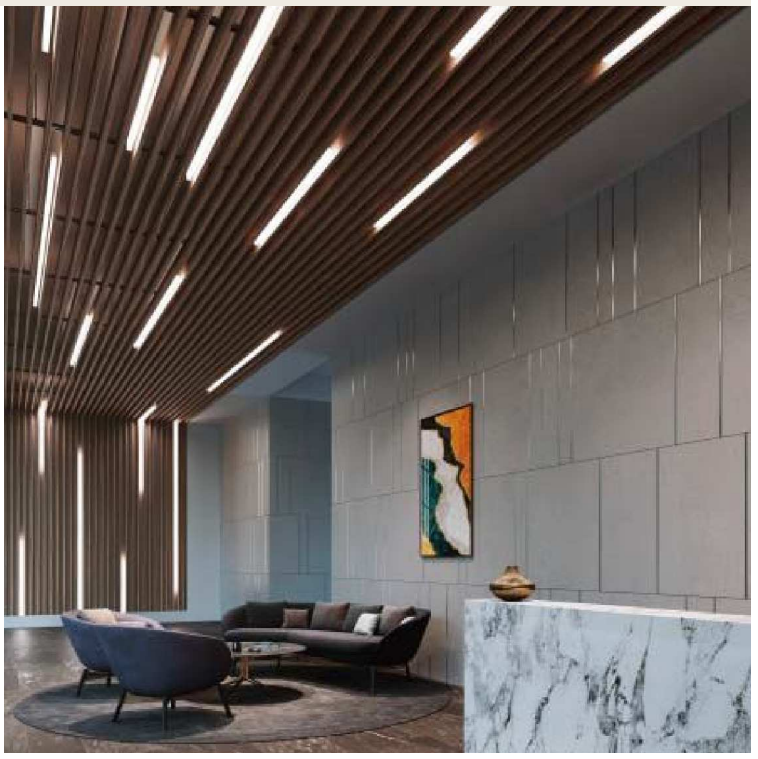
様々な角度の線を交差させることで、構成されている空間。交わる線の密度を変えることにより、明るさの強弱を作り出すことができる。大きな空間や様々な人が交わりあい、コミュニケーションをとることにより、イマジネーションを活性化したいエリアなどに適している。



03
分　散

明るさが均質になるように同じ方向で構成されている空間。一定の明るさを効率よく確保したい場合などに適している。部屋の大きい、小さいを選ぶことなく、使い勝手がよい。千鳥配置のようにずらして配置することで、天井面にリズムを生み出したり、工夫次第で様々なエリアで活用できる。



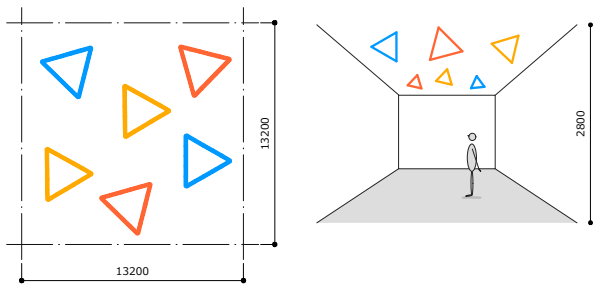






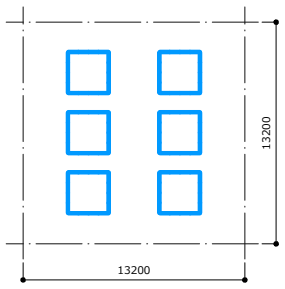
04
象　形

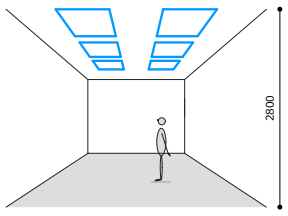
線と線を組み合わせて描いた象形で構成されている空間。天井面に形を作ったり、壁面に文字や数字を作ることで、サインとしてみたり、アイキャッチにもなる。寝転がれるような場所や何か形を作ることにより、その空間に意味を持たせたい場合などに適している。



05
四 角

4本の線を使い四角形をつくることで構成されている空間。天井に造作工事する手間をかけずに、折り上げ天井のような雰囲気をつくり出すことができる。四角形に囲われたエリアごとに曖昧な境界を作り出す効果もあるため、大空間などにも有効である。



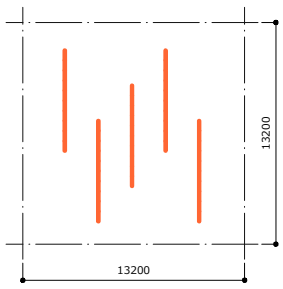


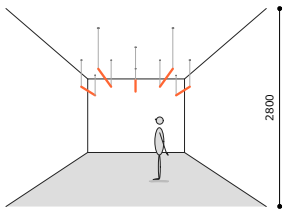




06
浮 遊

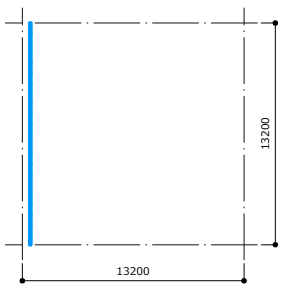
天井面から吊り下げたライン照明で、構成されている空間。光の位置を下げることによって、手元の明るさが確保がしやすくなる。広いスペースの一部に浮遊した光があることで、特別感を生むこともできる。天井が高い場合や机上面を集中的に明るくしたい時に適している。

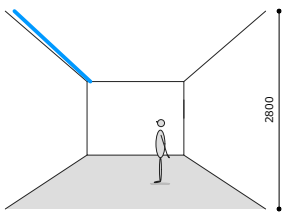


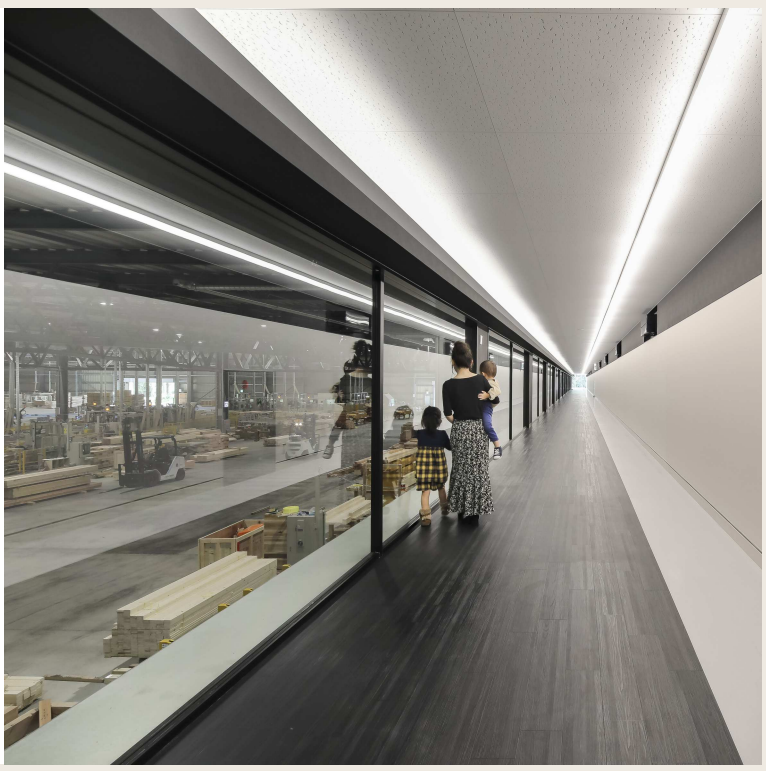


07
間 接

シームレスな直線が連続することで、構成されている空間。直線が連なっていくことで奥行き感を生み出す。壁面に寄せることで、天井を折り上げず、間接光のような柔らかい光を壁面と天井面のせることができる。人を意図的にある方向へ誘導したい場合などに適している。

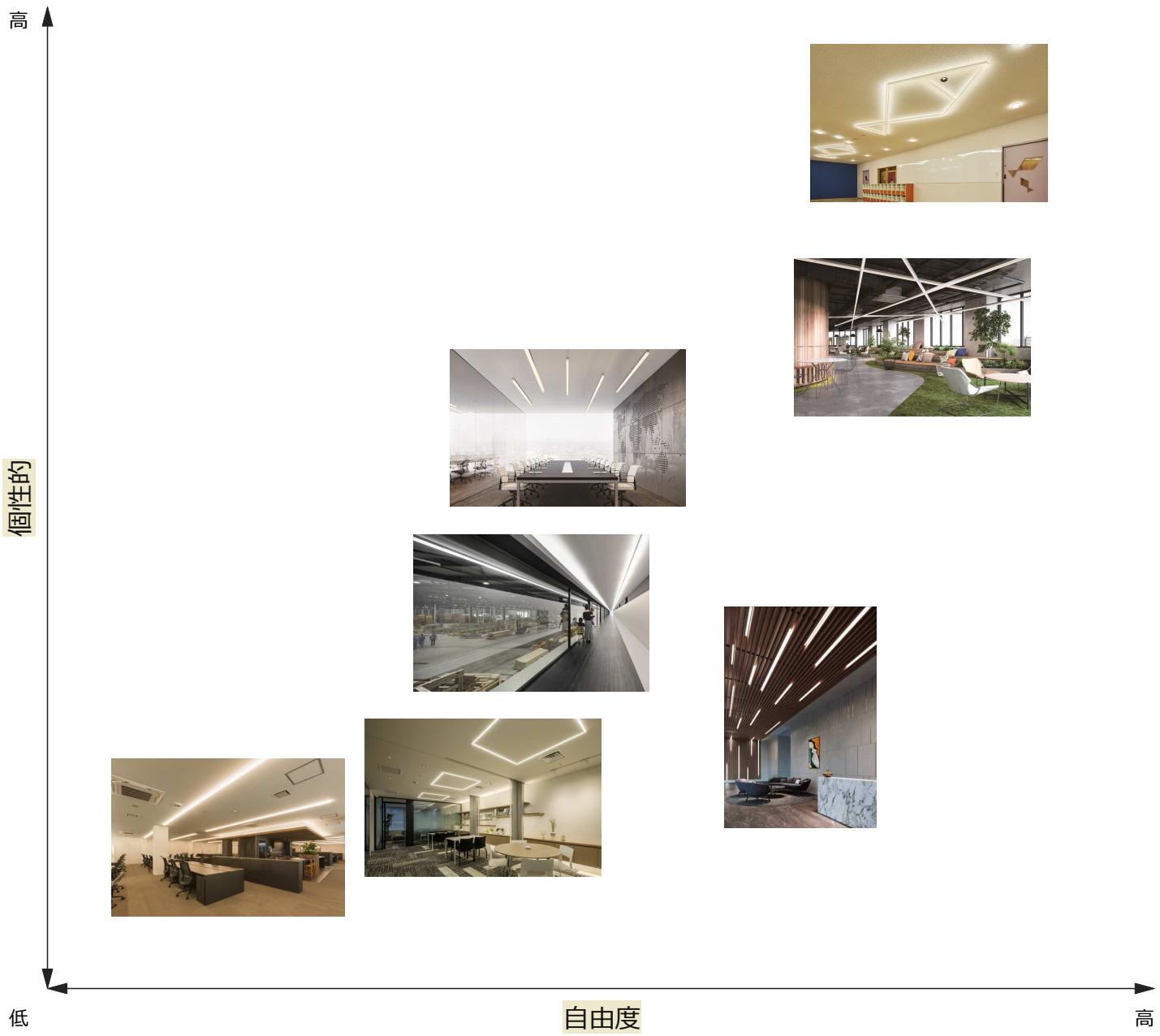






MATRIX

マトリックス分類をすることで空間が与えるイメージを明確にします。



これまでご紹介してきたように、ライン照明には様々な照明手法があります。今回ご紹介させて頂いた中から「こんなイメージの空間を創ってみたかった」や「ライン照明を使って、何か別の新しい空間を創ってみたい」などのご要望がございましたら、私たちLCRメンバーが一緒になって素敵な空間創りのお手伝いをさせて頂きます。